

Formica sanguinea

Latreille, 1798



写真：Philipp Hoenle (myrmecophil), CC0 1.0

アカヤマアリ

他のFormicaの蛹を奪って手伝い役に育てる、赤と黒の大胆な略奪者で、基本をすでに知っている飼育者向けの、やりがいのある種です。

ひと目でわかる情報



巣の温度

21-26 °C

巣の中



巣の湿度

50-60 %

巣の中



休眠

5-8 °C

10月 - 3月



結婚飛行

6月 - 8月

働きアリ

6-9 mm

どれも同じ大きさ



女王

9-11 mm

女王は1匹または複数



コロニーの規模

働きアリ5,000匹規模

成長速度：速い



脱走リスク

高い

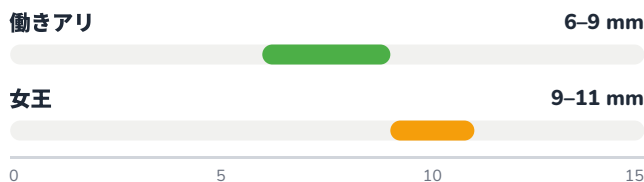
脱走の名人です。密閉したアウトワールドと、しっかりした脱走防止の対策を用意しましょう

1年をひと目で



月は温帯ヨーロッパと地中海地域の目安です。正確な日は天気で決まるため、お住まいの地域では飛行が早まったり遅れたりすることがあります。

同じ縮尺での大きさ



飼育の早見表

食べ物

砂糖

昆虫

おすすめの巣

- Ytongの巣
- 自然再現型のセットアップ
- サンドイッチ型の巣

この評価の理由

- ⚠ 本格的な脱走の名人で、脱走を完全に防げるセットアップが必要です
- ⚠ 社会寄生：コロニーを始めるには宿主の働きアリが必要です
- ⚠ 冷蔵庫などでの低温の休眠が必要です

飼育者からのメモ

ヒント

宿主にはFormica fuscaを使いましょう。この種と同じ開けた乾いた環境にすむうえ、ショップも多くの飼育者も使っている種です。Formica cuniculariaでも大丈夫ですが、Camponotus、赤いヤマアリ類、そしてフタフシアリ亜科（Myrmicinae）のアリはすべて宿主に向きません。

注意

襲撃で小さな宿主コロニーが一晩で全滅することがあり、密閉した容器では蟻酸がたまって手伝い役の働きアリが死んでしまうこともあります。宿主コロニーをつなぐのは、失ってもよい場合だけにしましょう。広くて換気のよいアウトワールドを使い、いつでもつなぎを切り離せるようにして、その間はそばにいてください。